

講義名	卒業研究				
講義コード	14418	授業形態		開講期・曜日・時限	通年 月曜日 4 時限
担当教員	脇 穂積		ナンバリング・コード		

学部・学科	演習分野
全学部全学科選択可能	脇穂積ゼミナール（営業学及び地域社会学）

概要説明

私たちは、現代日本社会に生きています。
現代社会は、近代社会や前近代社会の延長線上に存在しており、今もその基底を共有しています。
企業活動や日常生活で認識される事象に、日本社会の基底を確認することが出来るのです。

企業活動の一端である「営業活動」、あるいは現代地域社会生活においてキーワードとして取り上げられる「関係人口」。一見、全く関係のないそれぞれの事象も、実は、日本社会の基底に流れる「人間主義」的傾向が映し出した実体だととらえることが出来ます。

ゼミでは卒論執筆に向けて、毎週自身のテーマレジュメを発表してください。
特に注目してもらいたいのは、「日本社会の基底」という視点です。
現在、目の前に現れている事象に、日本社会の基底が関わっているという点を、鋭く検討してってください。

主な卒業論文のタイトル

脇穂積ゼミは2020年度に開講したばかりのゼミのため、卒業論文の実績はありません

教員よりの要望

ゼミは、自分の興味関心をすこしずつ形にして、それを言葉にしていく場所です。自分のやりたいことや興味関心は、すぐに生まれるわけではなく、おもしろい人や出来事への出会いから始まります。
卒業論文は、現在位置を表現する機会です。ぜひ頑張ってください。

選考方法

申請者には面接を行います。

評価方法

主に以下の観点から評価を行います。

- ・研究に臨む姿勢、参加意欲、副読の順守
- ・研究の目的の明確化、テーマの妥当性
- ・論文の骨子及び内容

教員英字氏名	研究室
Hozumi WAKI	研究棟 V 5430号室

最終学歴

関西学院大学大学院社会学研究科博士後期課程 満期退学

学位

修士（社会学）

主な研究活動・社会活動・研究業績

【経歴】
株式会社NNW JAPAN RESEARCH & CONSULTING代表取締役社長

【著書】
『これでいいのか市民意識調査』（大谷信介編著、ミネルヴァ書房、2 0 0 2 年）
『なぜ営業目標はいつも未達に終わるのか』（単著、労働調査会、2 0 1 3 年）

【学術論文】
「地方自治体における市民意識調査の実態」『日本都市社会学会年報20』
「実践講座社会調査(2)聞き取り調査の運営と管理」『理論と方法Vol.18』大谷信介、松川尚子103-114頁
「自治体計画策定における市民意識調査の役割」『実践的社会調査教育方法構築のための実証的研究』科研費報告
「市民意識調査実施のメカニズム～香川県高松市の46調査を事例とした実態研究～」『修士論文 関西学院大学』

【賞罰】
日本マーケティング学会2014 ポスターセッション ベストポスター賞「「営業学」理論体系化への挑戦」
日本マーケティング学会2015 ポスターセッション ベストポスター賞「営業スタイルと顧客価値創造との関係性フレームワーク」
日本マーケティング学会2016 ポスターセッション ベストポスター賞「日本営業のグローバル・レベルからの注目」

【資格】

趣味・特技

- ・ロングライド（ホノルルセンチュリーライド100mile、淡路島ロングライド150*。。しまなみ海道140*。等）
- ・読書年間600冊前後（経営学営業・社会学・統計・世界史・日本史・量子力学・宗教、小説：浅田次郎、今野敏等）
- ・一日一食生活を続けています
- ・座右の銘：Happy wife、happy life（妻が幸せだと、結果的に自分自身の人生も幸せになる）

所属

所属学会

日本マーケティング学会
GLOBAL SALES SCIENCE INSTITUTE

専門分野

社会学、営業学、調査方法論、地域社会論、マーケティング・リサーチ

担当科目

地域社会学、サービス消費論、統計調査法、商業施設経営論、業界研究（サービス業）、専門基礎演習、研究演習Ⅱ、卒業研究

備考

実務経験の有無及び活用

実務経験あり。
担当教員が経営するコンサルティング先、及び地域支援先との連携を検討。